



全国学力・学習状況調査の結果について Part1

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が子どもたちの学力状況を把握するため、小学6年生と中学3年生を対象に平成19年から毎年4月に実施しています。

教科に関する調査（R6年度は国語と算数）と質問紙調査が実施されます。

調査結果は、国、三重県の平均と比較してお知らせします。

右の表から、全国や三重県の平均を下回っていますが、国語科については、「書くこと」に関する問題は、全国平均を上回る結果となりました。

教科	全国 (%)	県平均 (%)	本校平均 (%)
国語	67.7	67	
算数	63.4	62	

《国語》

- 「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書く問題」や「集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする問題」の正答率は全国、県の平均とも高い。
- 「話し言葉と書き言葉の違い」や「漢字を文の中で正しく使う」といった言語に関する問題、「登場人物の相互関係や心情などについて捉える」「人物像を具体的に想像する」といった文章を読み取る問題の正答率が低い。

毎日、授業の中で、読書をしたり文章を書いたりする習慣を身に付けることを意識した学習をすすめることで、語彙力や読み取る力を高めていきたいと思えます。

《算数》

- 「直方体の見取り図について理解し、書くことができる問題」は、正答率が全国、県の平均より高い。
- 「数量の関係をとらえ式に表す問題」や「数量の大きさの関係について理解しているかを問う問題」、「少数のある割り算の問題」といった計算に関する問題の正答率が低い。また、「理由を言葉や式を使って記述する問題」は、何も回答していない児童の割合が高い。

算数科の学習場面だけでなく、各教科の場面で、自分の考えを伝えたり、様々な考え方を知ったりすることで自分の考えを深め、学習したことを活用する力、表現する力を高めていくことを大切にしていきたいと思えます。

質問調査については、学校だより12月号でpart2としてお知らせします。

楽しかった 修学旅行！

10月17日（木）18日（金）に、6年生が修学旅行に行ってきました。

1日目は、世界遺産に登録されている法隆寺、奈良公園（二月堂・三月堂）、東大寺を見学し、京都へと向かいました。清水寺では舞台から京都の街を見下ろし、その後は清水坂で買い物を満喫し、旅館へ到着しました。渋滞に巻き込まれることなくスムーズに行程が進んだため、旅館ではゆっくり食事をし、友達と過ごす時間を楽しみました。



2日目は、二条城でうぐいす張りの「キュッ、キュッ」という音を聞きながら江戸幕府が大政奉還を行った大広間や襖（ふすま）絵、欄間（らんま）を見学しました。また、金色に輝く金閣寺に感動したり、太秦映画村で自由行動を楽しんだり、最高の思い出ができたようでした。

今年は、外国からの観光客が多いため、三重県の魅力を伝えようと英語体験をしました。積極的に声をかけ、魅力やおすすめしたい場所を伝える姿が見られました。一緒に写真を撮ってもらったことはよい思い出ですね。



保護者の方々には、修学旅行に向けての準備や当日の送迎等、ご協力いただきありがとうございました。

町たんけん 2年生

10月9日（水）に、2年生が生活科の学習で、校区の町たんけんをしました。

「八雲神社・前田屋」「大安商店・さくら湯」「白塚市民センター・GALLO」の3か所に分かれ、施設や商品の様子を見せていただいたり、働く人の工夫や思いなどを聞かせてもらったりしました。

「毎日、何個売れますか？」「何種類くらいありますか？」など、事前に準備をしていたたくさんの質問をし、教えていただいたことをメモしていました。

自分たちの住む町の魅力をさらに感じた町たんけんとなったようです。

町たんけんにご協力いただいた地域のみなさま、ありがとうございました。

